

FOR FUTURE GLOBAL INNOVATORS



国際バカロレア
認定校



大阪府立水都国際中学校
大阪府立水都国際高等学校

OSAKA PREFECTURAL SUITO KOKUSAI JUNIOR & SENIOR HIGH SCHOOL

指定管理法人 学校法人 大阪YMCA

OPERATED BY OSAKA YMCA





EXPLORING WHO I AM

AT SUITO KOKUSAI JUNIOR &
SENIOR HIGH SCHOOL

水都国際という舞台で
「私が私になっていく」

本校は、グローバル化が進む中で、国際理解教育と外国語教育に重点を置きつつ、心、知性、身体のバランスの取れた全人教育を理念の核とする学校です。主体性と寛容性、多様な人を尊重し思いやる豊かな心、探究心、深い思考力、幅広く高い知性を養い、異なる人々と共によりよく生きる力を育みます。地球的な視野に立ち、地域社会と国際社会の平和と発展に貢献する人を育成することを目標としています。

教育目標

CULTIVATE STUDENTS' ABILITY
TO COLLABORATE AND CREATIVELY
CONTRIBUTE TO THE WORLD.

社会に貢献する 共創力をみかく

理念

PHILOSOPHY 01

ENCOURAGE

水都国際中学校・高等学校は、生徒や教員が新しいことに挑戦し続けられるようサポートします。自分自身を成長させ、生涯を通して学び続ける素地を養うために、失敗も成功も奨励します。

PHILOSOPHY 02

ENGAGE

生徒の興味関心を惹き、生徒自身を中心となって主体的に関わることができる、充実した創造的なプログラムを通して、水都国際中学校・高等学校の生徒は、学術的な専門性と国際社会で活躍できる資質・能力を獲得します。

PHILOSOPHY 03

EMPOWER

水都国際中学校・高等学校の生徒は、様々な事象を批判的に思考する方法、意思決定をする方法、チームで協働する方法を学びます。生徒と教員は世界に目を向け、グローバルな環境下で自信を持って行動します。

SCHOOL PHILOSOPHY



SCHOOL VISION

全国初の公設民営による併設型中高一貫教育校 公設民営の手法による学校運営

大阪府立の 公立学校	設置者	大阪府
	管理・運営	学校法人 大阪YMCA [指定管理法人]

YMCAとは？

世界120の国と地域で活動している団体でイギリス、ロンドンで1844年に設立されました。現在では世界で6,500万人のメンバーが活動しています。大阪YMCAは1882年に設立されて以来、英語教育、幼児教育、青少年教育、社会教育、生涯学習など様々な分野で活動を展開しています。大阪府立水都国際中学校・高等学校はこのような世界的なネットワークと歴史の蓄積を持つ大阪YMCAのノウハウを活かして運営されます。



YMCAの世界120の国と 地域に広がるネットワークを活かした 多彩な国際交流プログラム

中学校

- 海外語学研修 [任意]
- YMCAグローバルプログラムへの参加
- 海外からの学生、インターンを交えた国際交流活動
- 提携インターナショナルスクールとの交流

高等学校

- 海外研修 [全員]
1年次(アジア・オセアニア方面を予定)、1週間程度/30万円程度。
- グローバルユースカンファレンス(GYC) [任意]
世界各国のユース世代が様々な社会問題について、対面・オンライン等様々な方法で世界とつながり、英語でディスカッションを行います。
- 海外語学研修 [任意]
YMCAグローバルプログラムに参加可能。
- 海外大学見学ツアー [任意]
北米大学体験と企業見学、長期休暇期間を予定。



21世紀型
スキルを
身につける

3つの教育の柱



英語教育

英語教育に重点を置いた
教育活動

- 01 数学・理科・英語・グローバルスタディーズ/グローバル
— イシュー（国際理解）の授業は原則英語で実施（学年・
コースにより異なります）
- 02 EAL（英語指導助手）のサポートにより、授業内外で英
— 語力を伸ばす環境
- 03 英語ネイティブ教員が全教職員の約30%であるため、
— 学校の中で世界を身近に感じる環境



国際理解教育

自国の伝統や文化に根ざした
国際理解教育に重点を置いた
教育活動

- 01 YMCAの世界120の国と地域に広がる
— ネットワークを活かした教育、海外研修、
国際交流や講演
- 02 海外大学・国内大学との連携：カルガリー
— 大学、トリニティウェスタン大学、ウーロン
ゴン大学・テイラーズ大学・インティ大学
（マレーシア）、立命館アジア太平洋大学
（その他進行中）
- 03 多教科でのSDGsを通じた学びの展開



カルガリー大学の広大なキャンパス /



課題探究型授業

自ら課題を発見し
解決することを目的とした
課題探究型授業の実施

- 01 新しい中学校学習指導要領、高等学校学習指導要
— 領でも主眼とされている「自ら学び自ら考える力」
（探究型の学び）「主体的・対話的で深い学び」（アク
ティブラーニング）を日々実践
- 02 高校2年次から始まる国際バカロレアコース、IB科
— 目での学びへのつながり（国際バカロレアについてはP11-12をご覧ください）
- 03 1人1台端末を活用した、多様な学習方法の実現が
— 可能（中学生・高校生とも貸与、WiFi完備）
- 04 Google Workspace for
— Education（Googleが提供
する円滑な情報活用・協創を
可能とするオンラインサービ
ス）を日常的に利用

事例校



SUITO KOKUSAI JUNIOR HIGH SCHOOL 水都国際中学校

学習指導要領に基づく学習を行うとともに、自ら課題を発見し解決することを目的とした課題探究型授業を多く展開し、生徒の主体的に学ぶ力や豊かな知性の育成をめざします。

特徴

充実した
英語教育

サポート体制
英語指導助手(EAL)による
十分なサポート体制

英語による授業
[イメージ授業]
数学・理科・英語などにおいて
原則英語での授業
(学年により異なります)

豊かな英語学習環境

週33時間授業
標準に比べ週あたり
プラス4時間の授業

授業紹介

◆ 数学

英語ネイティブ教員&日本人教員と一緒に、同級生と協働しながら問題を解き進めます。



◆ コミュニティ&アクション

数か月に及ぶ他学年共同の探究プロジェクトや、いじめについての授業に生徒主体で取り組むなど、水都ならではの学びを行います。



◆ 英語

教科書をベースに、ライブラリー貸出の個々のレベルにあった本を用いたレポート作成や単語小テスト等を通し、着実に基礎を固めます。

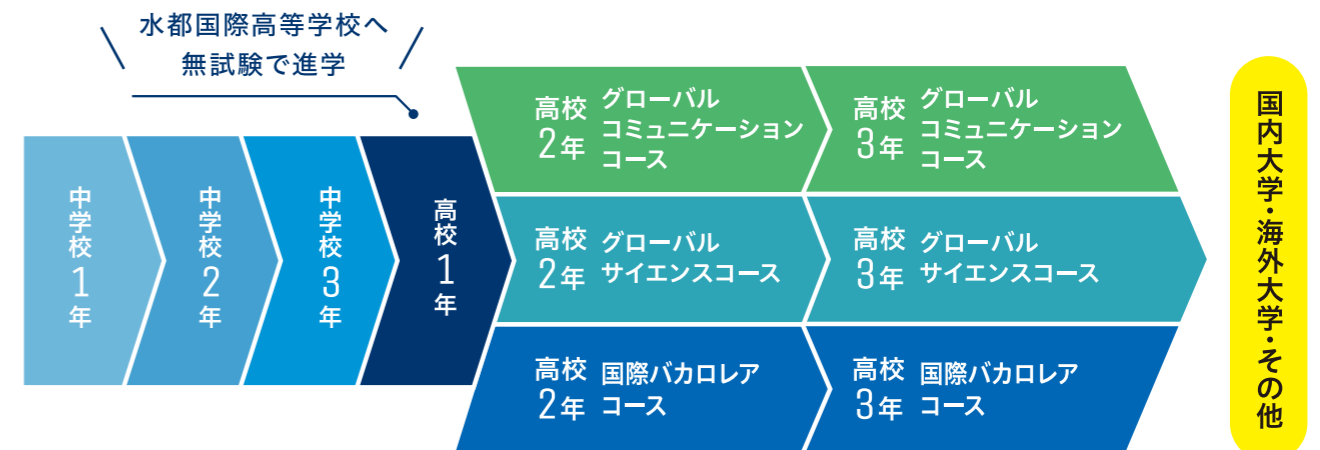


◆ 総合的な学習の時間(Creative Learning)

「つくる」ことを通して、自己に潜り、他者を汲み、世界の複雑さを理解する学びを総合的な学習の時間を用いて1年生から3年生まで実施しています。



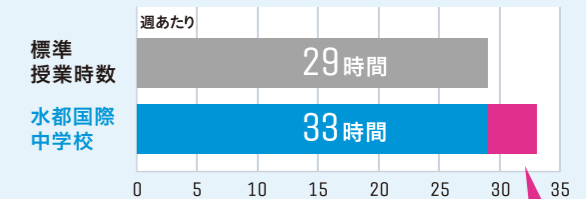
中高6年間のコースイメージ



教育課程

区分	第1学年		第2学年		第3学年	
	年間時数	標準時数	年間時数	標準時数	年間時数	標準時数
国語	140	140	140	140	105	105
社会	105	105	105	105	140	140
○数学	140	140	105	105	140	140
○理科	105	105	140	140	140	140
音楽	45	45	35	35	35	35
美術	45	45	35	35	35	35
保健体育	105	105	105	105	105	105
技術家庭	70	70	70	70	35	35
○外国語(英語)	175	140	175	140	175	140
○グローバルスタディーズ(国際理解)	70	0	70	0	70	0
○コミュニティ&アクション	35	0	35	0	35	0
道徳	35	35	35	35	35	35
総合的な学習の時間	50	50	70	70	70	70
特別活動	35	35	35	35	35	35
総授業時間	1155	1015	1155	1015	1155	1015

○印は原則英語での授業



外国語 +1 グローバルスタディーズ +2 コミュニティ&アクション +1
週あたり +4 時間

中学校1年生の時間割の例

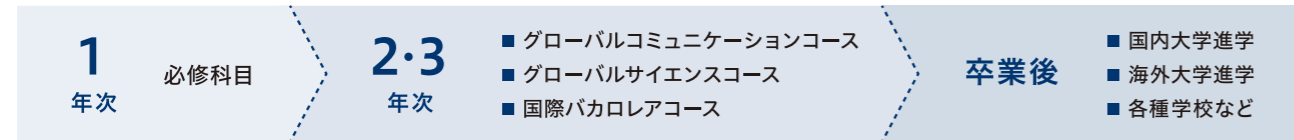
	月	火	水	木	金
1	理	国	体	国	英
2	理	英	体	音	技
3	総	社	数	社	家
4	総	音	英	英	GS
5	数	保	社	数	国
6	英	数	国	GS	理
7		道	C&A	LHR	

SUITO KOKUSAI SENIOR HIGH SCHOOL 水都国際高等学校

グローバル探究科

将来、国際的な舞台で活躍するための、実践的なコミュニケーション能力や英語運用能力を習得するとともに、自ら課題を特定し、原因と解決方法を探究・確立するための論理的思考力の素地を養います。

コースイメージ



**グローバル
コミュニケーションコース**

地球市民として地域、国際社会で活躍するための実践的なコミュニケーション能力や英語運用能力を育成するコース

**グローバル
サイエンスコース**

自然科学分野において、国際的な舞台で科学的な能力や知見を発揮して活躍できる人材を育成するコース

国際バカロレアコース

英語および日本語でDP授業を行い、国際バカロレア資格の取得をめざすコース

卒業時のめざすべき英語運用能力 → **CEFR B2レベル [TOEFL IBT 72-94、英検準1級等]**

授業紹介

◆ 国語

現代文、古文、漢文を学び、日本語や日本の文化を知り、文章を深く読み、分析します。同級生と対話をしながら、豊かな言葉を身に付けます。



◆ 化学基礎

英語ネイティブ教員の指導を基に実験やポスター・模型作成等で手を動かし、日本語でのサポートも得て、知識の定着を図ります。



◆ 世界史

歴史は繰り返します。故に歴史を学ぶことは未来を知ることといえます。現代社会の諸課題の原因を過去に遡って検証し未来の社会を考察します。



◆ 英語

テーマに沿ったエッセイの作成や口頭試問等の4技能をバランス良く伸ばす課題を数多くこなし、国際社会で活躍できる英語力を身につけます。



特徴

- 01** 多者間折衝・交渉が可能なレベルの英語運用能力を身につけるための授業を実施します。
- 02** 数学・理科・英語・グローバルイシュー(国際理解)を原則英語で実施します。(学年・コースにより異なります。)
- 03** 自ら課題を発見し、解決することを目的とした課題探究型授業を多く実施します。
- 04** 国内・海外の大学や企業・地域社会と連携し、より深い学びの機会を提供します。
- 05** 授業と関連付けた国内・海外研修を実施します。

教育課程

高校1年

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34
現代の国語	言語文化	地理総合	歴史総合	数学I	数学A	生物基礎	化学基礎	物理基礎	体育	保健	家庭基礎	情報I	総合英語	グローバルイシュー	音楽I/美術I/書道I	LHR																	

※ 英語で行われる授業 ※ 日本語・英語の選択が可能

高校2・3年

■ グローバルコミュニケーションコース

2年	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33
	体育	保健	総合的な探究の時間(TOK)	公共	グローバルイシュー探究II	IB英語(言語B)	英語コミュニケーションI	論理国語	IB国語	古典探究	理科基礎演習(日本語)	世界史/日本史/地理探究	IB歴史	数学II	数学B	LHR																	
3年	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33
	体育	総合的な探究の時間(TOK)	グローバルイシュー探究III	IB英語(言語B)	英語コミュニケーションII	論理国語	IB国語	古典探究	世界史/日本史/地理探究	IB歴史	日本語・日本文化探究	地歴・公民演習	数学演習	理科基礎演習	EE	LHR																	

■ グローバルサイエンスコース

2年	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33
	体育	保健	総合的な探究の時間(TOK)	公共	グローバルイシュー探究II	IB英語(言語B)	英語コミュニケーションI	論理国語	古典探究	数学II	数学B	化学	物理/生物	LHR																			
	IB数学(5コマはIBコースと合同)、2コマ演習													IB化学																			
3年	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33
	体育	総合的な探究の時間(TOK)	グローバルイシュー探究III	IB英語(言語B)	英語コミュニケーションII	論理国語	古典探究	数学III	数学C	化学	物理/生物	日本語・日本文化探究	地歴・公民演習	EE	LHR																		
	IB数学													IB化学																			

■ 国際バカロレアコース

2年	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33
	体育	保健	総合的な探究の時間(TOK)	公共	IB英語(言語B)	IB美術/IB生物	IB国語	IB数学	IB歴史	IB化学	LHR																						
						IB英語(言語B)	IB生物	IB国語	IB数学	IB歴史	IB化学																						
3年	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33
	体育	総合的な探究の時間(TOK)	IB英語(言語B)	IB美術/IB生物	IB国語	IB数学	IB歴史	IB化学	EE	LHR																							
						IB英語(言語B)	IB生物	IB国語	IB数学	IB歴史	IB化学																						

※ 赤字:IB科目 ※ EE:Extended Essay ※ 英語で行われる授業 ※ 日本語・英語の選択が可能

国際バカロレア (IB) とは

国際バカロレア (IB: International Baccalaureate) は、1968年、チャレンジに満ちた総合的な教育プログラムとして、設置されました。世界の複雑さを理解し、対処できる生徒を育成し、未来へ責任ある行動をとるための態度とスキルを身に付けさせるとともに、国際的に通用する大学入学資格 (国際バカロレア資格) を与え、大学進学へのルート確保を目的としています。現在、認定校に対する共通カリキュラムの作成、世界共通の国際バカロレア試験、国際バカロレア資格の授与等を実施しています。(文部科学省HPより)



IB教育の目指す10の学習者像

考える人 THINKERS	挑戦する人 RISK-TAKERS	探究する人 INQUIRERS	バランスのとれた人 BALANCED	思いやりのある人 CARING
心を開く人 OPEN-MINDED	知識のある人 KNOWLEDGEABLE	コミュニケーションができる人 COMMUNICATORS	信念を持つ人 PRINCIPLED	振り返りができる人 REFLECTIVE

水都国際での国際バカロレアコース

- 高校2年生の4月に開始し、高校3年生の11月に実施される外部試験で45点満点中24点を取得すればフルディプロマの認定を得られます。卒業時には高等学校卒業資格 (グローバル探究科) を得ることができます。
- 水都国際ではDual Language Programme (英語と日本語で行うDPコース) を実施しています。特徴的な学習法として、教員や生徒による講義、対話型学習、グループ/ペアワークによる共同学習、プレゼンテーション、課題解決・探究型学習などがあげられます。これらをとおり、コミュニケーションスキル、自己管理スキル、リサーチスキル、社会性スキル、多角的思考力などを養い、社会で答えの分からない課題に直面した際の課題解決力を高めるとともに大学での学びに備えることができます。

水都国際ならではの国際バカロレアの特徴

FEATURE 01

高校2年次から国際バカロレアDP (ディプロマプログラム) の科目「英語」を全員が履修するとともに、国際バカロレアコース以外の生徒も国際バカロレアの一部の科目が選択可能。

FEATURE 02

「TOK」「Extended Essay」「CAS*」を全員が履修。中学校も含め教科の学びにプラスして学校全体で「探究型の学び」に取り組んでいます。
*CASはGAPS: 課外活動として実施

FEATURE 03

公立学校の学費で国際バカロレアの履修が可能 (教材費用、最終試験費用は実費がかかります)。

DP科目と水都国際高校での実施



コア領域	知の理論 THE THEORY OF KNOWLEDGE: TOK	知識とは何かという問いを深く探究します。
	CAS CREATIVITY, ACTIVITY, SERVICE	体験的学習と振り返りを通じて成長をめざします。
	課題論文 EXTENDED ESSAY	自分のテーマについて探究し論文を作成します。
DP科目グループ		
01	言語と文学 STUDIES IN LANGUAGE AND LITERATURE	国語 (日本語で実施) JAPANESE A: LANGUAGE AND LITERATURE (HLまたはSL)
02	言語習得 LANGUAGE ACQUISITION	英語 (英語で実施) ENGLISH B (HLまたはSL)
03	個人と社会 INDIVIDUALS AND SOCIETIES	歴史 (日本語で実施) HISTORY (HLまたはSL)
04	科学 EXPERIMENTAL SCIENCES	化学 (英語で実施) CHEMISTRY (HLまたはSL)
05	数学 ANALYSIS AND APPROACHES	数学 (英語で実施) MATHEMATICS (HLまたはSL)
06	芸術 THE ARTS	美術または生物 (日本語) VISUAL ART SL OR BIOLOGY (HLまたはSL)

※HL=Higher Level, SL=Standard Level DP6科目のうち3科目をHLで履修する必要があります。 ※上記は2023年度以降の開講予定科目であり変更されることがあります。

国際バカロレアの授業紹介

◆ 言語と文学

さまざまな文学と非文学テキストを通して、言語そのものの特性や、アイデンティティーが言語に与える影響、また文学と文化の関わり等を学びます。



◆ 科学

科学的知識の習得を重視しつつ、実験データを読み取る力を身につけます。また、個人の研究テーマを持って実験を行い論文を作成します。



◆ 芸術

授業では作品制作だけではなく、作家・作品の比較研究や自身の作品のプロセスポートフォリオ、さらには作品の展示まで行います。



◆ 知の理論

知の理論では、知る人としての自身を振り返り、知識そのものの性質と知識を得るプロセスを様々な視点から探究していきます。



「社会とつながる水都の学び」とそこから広がる多様な進路

本校では主体的・対話的で深い学びの実現をめざし、授業や課外活動で社会とつながることを重視しています。広く、深く、社会について知見を蓄えた生徒がそれぞれ進みたい道へ進めるように様々なサポートがあります。高校ではグローバルコミュニケーションコース、グローバルサイエンスコース、国際バカロレアコースのどのコースからも、海外大学、国内大学をはじめ多様な進路へ進むことができます。

社会とつながる水都の学び [これまでの学びの実践例]

宇宙植物学の研究(NASAが出資しているウイスコンシン大学、ギルロイ研究所と協働)

宇宙空間でどのように植物が育つかをテーマとし、本校生徒の実験データが研究所をとおして国際宇宙ステーション(ISS)での実験などに使用されています。本校理科教員がヒューストンでの研究会で発表し、次回は生徒も発表に行く予定です。



RESASプログラム(広島県立広島叡智学園中学校と協働)

地方創生の様々な取り組みを情報面から支援するために経済産業省と内閣官房が提供しているデータを読み取り、広島県立広島叡智学園中学校のRESASチームとフィールドワークやオンラインでの協議を通してそれぞれの地域の未来を考えるプログラムを実施しました。



国際協力、国際開発講演会(国際協力機構(JICA)、世界銀行、ユニセフと協働)

JICAに在籍していた教員が複数いることもあり、現地で上記機関で活躍されている方とオンラインでつなぎ、活動内容について講演をお聞きし、質疑応答などを定期的に行っています。その影響で本校入学後、国際協力や国際開発分野へ進路を定める生徒が増えてきています。



学校ICT活用の発表(Google For Educationと協働)

本校の生徒がICTを活用した学校生活について、教育総合展Google For Educationのブースにて英語と日本語で事例発表を行いました。公立学校におけるICTの先進的な取り組みとして各方面から取材いただいています。



SDGsの取り組み

課外活動のグループICS(Impact Citizens for SDGs)が、MARUZEN&ジュンク堂書店にてSDGsの特設コーナーを担当して普及活動を行ったり、国際バカロレアのCASでATC(アジア太平洋トレードセンター)の催しにブース出展させていただき環境問題について発表したりしています。



多様な進路

海外大学

アメリカ総領事館、オーストラリア総領事館、カナダ大使館、ドイツ学術交流会、留学生教育学会、留学エージェントなどのご協力のもと、海外大学進学説明会、アメリカ大学進学説明会、奨学金獲得のためのワークショップなど多様な国、大学、進路についての説明会を実施しています。(カナダのカルガリー大学、トリニティウエスタン大学とは大阪YMCAが教育連携協定を結んでいます。)



国内大学

全国各地の大学のご協力のもと、大学での授業を体験できる模擬授業、大学説明会を開催しています。上記以外にも全国の多様な大学と進路指導部でやり取りをしており水都での学びを大学でより発展させられるように取り組んでいます。また、多くの大学・学部から指定校推薦枠を頂いています。

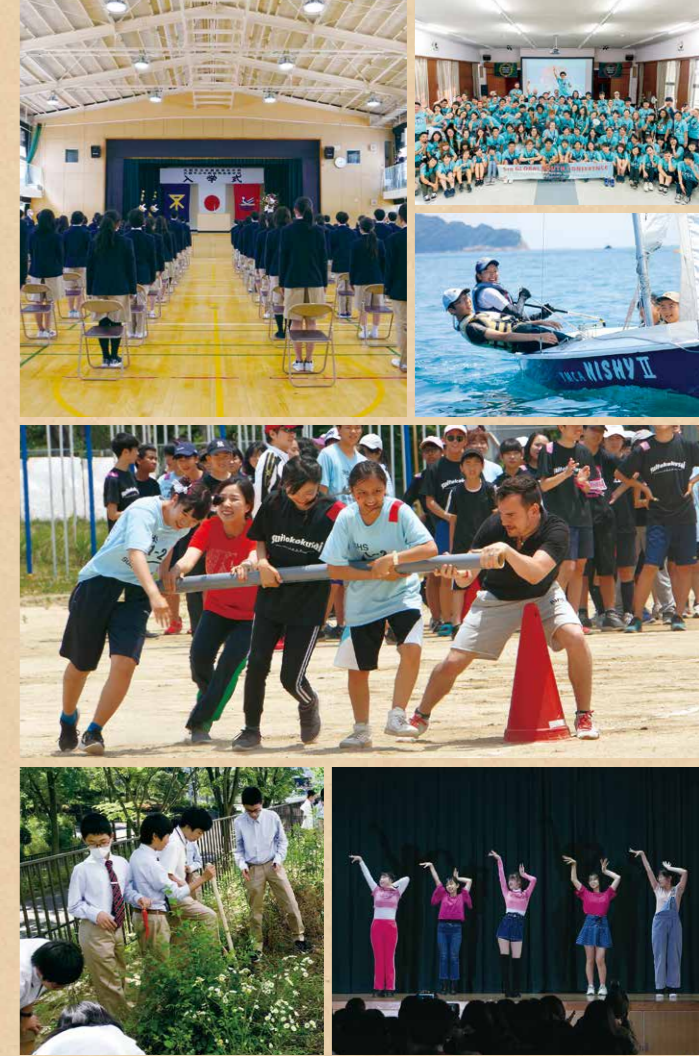


ANNUAL EVENTS

年間行事



*アカデミックフェア:日頃の学習成果を発表する機会 ※変更の可能性あり



EXTRACURRICULAR ACTIVITIES 課外活動 [GAPS]

みつける、つなげる、つくっていく

すべての課外活動を『Global Action Project in Suito (GAPS)』の一環と捉え、生徒たちの主体的な学びを支援します。

自ら考え、実現し、振り返るスキルを養います。

GAPSのシステム

活動を希望する生徒が集い、活動内容、活動頻度等を協議

生徒会に申請・プレゼンテーションを行う

生徒会がGAPSを承認、活動開始!

これまでのGAPS活動例

- バスケットボール部 ■ バドミントン部 ■ ダンス部 ■ スケボー部 ■ サッカー部 ■ 軽音楽部
- 演劇部 ■ 美術部 ■ 茶道部 ■ 競技かるた部 ■ マインクラフト部 ■ 数学研究部 ■ LEGO部
- World部(世界の言語を学ぶ活動) ■ Library Fairy(ライブラリー整備やイベント企画)
- TAG(環境問題等の社会問題解決のための活動) ■ 校歌作成プロジェクト(校歌の作詞を担当)
- TAB(Think About Bullying いじめについて考える日の企画) ■ ICS(SDGsを広める活動)

学校行事・GAPS・その他学校生活の最新情報はブログにて随時更新中!



水都国際中学校・高等学校の制服



自分らしさを大切にしたい
着こなしが可能です

ボタン
光を反射するオリジナル
デザイン。
暗がりの安全性を配慮。



志を胸に。
水都国際の
象徴エンブレム。



校章 国際社会を渡る生徒を
育成する

”海を渡り 世界に羽ばたく海鳥”
筆を持つ鳥は知性と勇気を兼ね
備えた、新世代の若者の象徴
です。



ネクタイ/リボンは
中学は赤、高校は青
で色分け

キュロットスカート
裾にワンポイント「S」
刺繍入り。後ろはボク
スプリーツデザイン。



施設 2022年度 最終完成イメージ



※現時点でのイメージ図であり、今後変更となる可能性があります。

学級数・生徒数について

	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
中1	2学級(80名)	2学級(80名)	2学級(80名)	2学級(80名)
中2	2学級(80名)	2学級(80名)	2学級(80名)	2学級(80名)
中3	2学級(80名)	2学級(80名)	2学級(80名)	2学級(80名)
高1	2学級(80名)	4学級(160名)	4学級(160名)	4学級(160名)
高2	2学級(80名)	2学級(80名)	4学級(160名)	4学級(160名)
高3	2学級(80名)	2学級(80名)	2学級(80名)	4学級(160名)
計	12学級(480名)	14学級(560名)	16学級(640名)	18学級(720名)

学校位置図



大阪府立水都国際中学校・高等学校
Osaka Prefectural Suito Kokusai
Junior & Senior High School

〒559-0033 大阪府大阪市住之江区南港中3-7-13
TEL 06-7662-9600(中学校)/06-7662-9601(高校)
FAX 06-7662-9602
E-mail school-inquiry@osakayma.org
HP <https://osaka-city-ib.jp/>

学校説明会・オープンスクールを随時開催！
詳しくはWebサイトにてご確認ください。

